

令和7年度11月補正予算（案）の概要

1. 予算編成の考え方

- 「富山県経済の好循環加速化パッケージ」を始動
- 未来への投資、県民の安全・安心の確保などに必要な予算を計上

2. 予算の規模等

一般会計11月補正予算案額

24億2,245万円

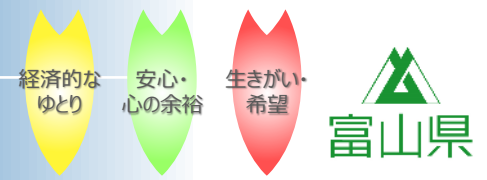
〈一般会計〉

(単位:百万円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			
		国支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	615,710	63,364	50,029	90,468	411,849
補正予定額	2,422	55	1,722	585	60
合 計	618,133	63,420	51,751	91,053	411,909

(注) 計数は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは一致しない場合がある。

富山県経済の好循環加速化パッケージ



基本的な考え方 国の経済対策を「待つ」のではなく、県独自の「**攻めの支援**」へ

厳しい事業環境に直面する中小・小規模事業者の実情に即した支援を届ける

→ 国と県の施策を**有機的に連携**させ、施策効果を最大限引き出し、地域全体への波及を加速

パッケージの **3 本柱** ①**生産性向上** ②**持続的賃上げ** ③**物価高対応・消費喚起**

生産性向上

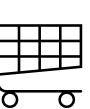


企業の「**稼ぐ力**」を高め、経済の好循環を加速化

持続的な賃上げ



物価高対応
消費喚起



第1弾【11月補正】

・**先行的に現場密着の即応支援**を展開（**県単独**）

融資制度「生産性向上・賃上げ支援枠」、専門家派遣による経営力強化集中支援、価格転嫁サポート補助、賃上げ応援等

第2弾【11月補正（追加提案予定）】

・重点支援交付金のうち先行実施分など（**国経済対策に機動的に呼応**）

第3弾【2月補正・R8当初】

・各省庁の国補助事業、重点支援交付金の追加実施分
・県独自の新たな追加支援策 など

I 「富山県経済の好循環加速化パッケージ」の始動

① 県融資制度「生産性向上・賃上げ支援枠」の創設 4億円

生産性を高め、賃上げ実現を図る中小企業・小規模事業者の取組みを後押しするため、現行の「設備投資促進資金」に「生産性向上・賃上げ支援枠」を創設

区 分	内 容
融資対象	デジタル技術を活用した設備導入により、生産性または業務効率が3%以上の向上を図り、かつ、 融資実行後1年以内に給与支給総額(月額)を前年同月比で3%以上引き上げる 計画がある中小企業・小規模事業者
融資限度額	設備資金5,000万円（うち設備投資に伴う運転資金1,000万円）
融資期間	設備資金10年以内（据置1年以内） 運転資金5年以内（据置1年以内）
金 利	年1.25%以内 ※賃上げの実績を確認のうえ、当初1年間分の利子補給を実施（無利子化）
保証利率	年0.35%～年1.05%
取扱期間	令和8年3月31日まで
新規融資枠	10億円 ※協調倍率2.5倍

② 専門家派遣による経営力強化集中支援事業 728万円

生産性向上や価格転嫁の実現などによる経営力強化に向け、中小企業・小規模事業者が専門家から診断・助言を受ける際の初回費用を無料化

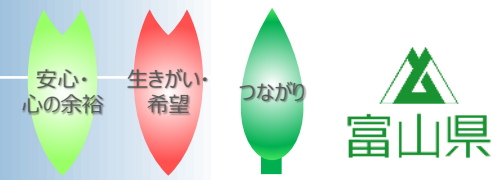
③ 価格転嫁サポート補助金 500万円

価格転嫁による経営改善に向けて中小企業・小規模事業者が取り組む課題解決に要する費用を支援

④ 賃上げ応援事業 500万円

賃上げに関する国等の支援制度を活用するために必要な就業規則の整備等に取り組む中小企業・小規模事業者を支援

Ⅱ 未来への投資、県民の安全・安心の確保など



未来への投資

① 新たな総合計画 P R 強化事業 250万円

新たな総合計画（本年末策定予定）において県が目指す将来像をわかりやすく県民と共有するため、次代を担う若年層への P R を強化

② 新川こども施設整備・運営事業 935万円

新川こども施設整備に向けた準備工事（整地、仮囲い設置等）を前倒しで実施

③ 台北臨時便インバウンド利用促進事業 600万円

台北便の定期便再開に向け、臨時便を対象としたインバウンド旅客確保を支援

④ 県立夜間中学環境整備事業 210万円

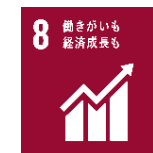
令和9年4月の雄峰高校内での県立夜間中学開校に向けて必要となる環境整備を実施



新川こども施設完成イメージ



台北臨時便



Ⅱ 未来への投資、県民の安全・安心の確保など



県民の安全・安心の確保など

① 潜在保育士の確保に向けた保育補助者雇用促進事業 3,300万円

潜在保育士の保育現場への段階的な復帰を促進するため、潜在保育士を保育補助者として雇用する施設を支援

② 県立中央病院の経営安定化 16億9,550万円

厳しい経営状況の中でも資金繰りに支障が生じないよう、一般会計から病院事業会計へ無利子貸付け

○ 県立中央病院における経営資金の確保（計33億9,100万円）

（１）経営改善推進事業債の発行 16億9,550万円

・病院運営に必要な資金を市中金融機関から長期で借入れ

（２）一般会計からの長期借入れ 16億9,550万円

③ 繁忙期等における補助業務者の配置 <R⑧債務負担行為の設定 9,710万円>

県庁の働き方改革の一環として、繁忙期や短期の育休期間中の業務等に対応するため、「オフィスサポートスタッフ」を配置

④ 道路補修や農業農村整備等に係るゼロ県債の設定 <R⑧債務負担行為の設定 31億7,700万円>

年度間の切れ目のない発注により、冬期に損傷した道路の補修や農業農村整備等の工事を翌年度早期に着手するため、債務負担行為を設定



道路の舗装補修(補修後)



農業用水路の改修(改修後)